



伊豆市

No.49

議会だより

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp> 編集:議会広報委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2 TEL 0558-72-9906 **2016.8.1**発行

5/24 火

中伊豆ふれあいプラザ



5/25 水

ふらっと月ヶ瀬



5/26 木

土肥支所



5/27 金

生きいきプラザ



伊豆市議会では、本年度より「議会基本条例」を制定し、「開かれた議会」「住民が参加する議会」を目指し、「議会報告会」を4地区で開催しました。(P10に掲載)

目次

■ 6月定例会の概要	2
■ 一般質問	5
■ 請願	8
■ 議会報告会を開催しました	10
■ 第1回臨時会概要	11
■ 意見書・9月定例会の予定等	12



HOST VENUE

平成28年6月定例会

平成28年6月定例会が6月10日から29日までの会期(20日間)で開かれ、報告5件、補正予算4件、条例の制定1件、条例の一部改正5件、人事案件1件、その他3件が上程され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

また、請願書4件と意見書2件が提出され、請願書2件を採択、意見書1件を可決しました。



▲3期目を迎えた市長の
所信表明演説

一般会計の総額は 166億5,432万円 になりました

平成28年度補正予算

◆一般会計補正予算(第2回)

人事異動に伴う職員給与費所要額の調整のほか、大学院への職員派遣研修費100万円、創業者支援事業の拡充180万円、オリンピック開催都市というブランドを生かした自転車まちづくり推進事業1千520万円、中心市街地歩行者空間調査検討業務700万円など、総額2千440万円を増額するもの。

◆一般会計補正予算(第3回)

平成27年度に退団した消防団員に対する退職報償金の確定に伴い、当初予算計上額で不足する1千52万円を増額するもの。

条例の制定

◆職員が大学院派遣研修費用の償還に関する条例

職員を大学院へ研修派遣するための研修費用の償還に関する条例を新たに制定するもの。

条例の一部改正

◆財産の交換、贈与、無償貸付等に関する条例の一部改正

市が普通財産の交換、譲与等を行うことができる団体に公共的団体を加え、市が所有する地域集会施設を認可地縁団体などへ無償譲渡することができるよう所要の改正を行うもの。

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部改正

保育料について、子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令に伴い、ひとり親等の要保護者世帯の保護者負担軽減措置のため、所要の改正を行うもの。

報告

◆平成27年度伊豆市一般会計予算の繰越費の繰越しの報告

◆平成27年度伊豆市一般会計予算の繰越明許費の報告

◆平成27年度伊豆市一般会計予算の事故繰越しの報告

◆平成27年度伊豆市下水道事業特別会計予算の繰越明許費の報告

地方自治法に基づき報告をするもの。

人事

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、現職の遠藤^{えんどう}護^{まもる}氏、海老名^{えびな}秀^{ひで}一^{かず}氏、鈴木^{すずき}正^{まさ}志^し氏、石川^{いしかわ}廣^{ひろ}一^{かず}氏を再任することに同意しました。



委員会の議案審査で、次のような質疑がありました

第1委員会

◆一般会計補正予算(第2回)

問 職員研修福利厚生事業で、東洋大学大学院に職員を派遣するということですが、一人の派遣では、派遣された職員にプレッシャーがかかるという心配はないか。

答 自信のある職員に応募してもらおうと考えています。また、東洋大学には、公民連携研究センターがあり、職員が卒業後も、引き続き情報をやり取りして教えていただくことを考えています。

問 職員研修福利厚生事業で、なぜ、公民連携の研修をやるのかとするのか。また、なぜ大学院なのか。

答 市長の所信表明で、新しい公共サービス、公共事業の在り方を検討していくと述べています。東洋大学の大学院の公民連携が国内

では先んじていて、地方自治体との連携も進んでいるということですので。

◆建設工事委託に関する協定

問 1億5千万円ほどの建設工事委託ということですが、随意契約とした理由は。

答 下水道事業団に発注から検査までの事務を委託するというものです。随意契約とした理由は、下水道事業団は公共団体を支援するために唯一設立されている団体であり、そのようなノウハウを持った専門の技術者がおり、他に委託事務すべてをやっていただけるところはないということです。

第2委員会

◆一般会計補正予算(第2回)

問 母子保健事業の子育て支援モバイルサービス利用料について、サービスの内容や効果は。

答 サービスの内容は、予防接種のスケジュールや、健診のお知らせその他、市の子育て支援に関する情報を発信するアプリです。効果については、先に導入した自治体

の例では、予防接種の問い合わせがかなり減ったこと、予防接種の医療事故の防止につながっていることや、行事等のお知らせを周知する率が高くなったことなどがあります。

問 柿木処分場管理事業の施設改良工事の詳細は。

答 処分場から出た汚水は、微生物を使い浄化させて川に流しています。今回、微生物を死滅させないように回転させるための、回転軸の一部が破損したため、これを取り換えるための工事です。

◆伊豆市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部改正

問 市民にとっては利便性が高まり、経済的な負担がなくなったのか。持ち込む人にとっては加算が増えてしまうのか。

答 今までは、50センチ以内のもの、袋に入れて出していたのですが、1メートル50センチ以内であれば、そのまま搬入できるようになりました。

また、50センチ以内でも厚さが5センチを超えるものについて

は、今まで持ち込むことができなくなりましたが、そのまま搬入できることになり、利便性が向上したと思われまます。ただし、あくまでも、料金はかかりますので、これについては、規則の中で規定し、条例を整理しました。

◆伊豆市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部改正

問 階層区分の5から7階層の保育料の金額が同一なので、幅広い層が同一料金になっているように感じるが、今回の改正時に検討はされたか。

答 階層については、前回の改正時に行いましたので、今回の改正時には、検討はしませんでした。

※1モバイル：移動性・携帯性・機動性などがあること。
 ※2アプリ：アプリケーションソフトの略で、特定の用途や目的のために作られたコンピューターソフトウェア

平成28年第2回（6月）定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡康司	三田忠男	小長谷朗夫	山下尚之	山田元康	青木靖	大川明芳	梅原正次	小長谷順二	西島信也	森島吉文	室野英子	飯田正志	木村建一
請願															
文教ガーデンシティ構想に関する請願書（請願項目2）	不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○
文教ガーデンシティ構想に関する請願書（請願項目1）	不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○
文教ガーデンシティ計画行政手続きに関する請願書	採択	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
修善寺駅及び周辺整備事業に関する請願書	採択	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○
意見書															
所得税法第56条の廃止を求める意見書	否決	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対

※2 議長（杉山誠）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

■全会一致で可決した議案等

専決処分の報告及びその承認について（交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定）	伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について
平成28年度伊豆市一般会計補正予算（第2回）	伊豆市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部改正について
平成28年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）	建設工事委託に関する協定の締結について
平成28年度伊豆市温泉事業特別会計補正予算（第1回）	市有財産の譲与について
伊豆市職員の大学院派遣研修費用の償還に関する条例の制定について	伊豆市固定資産評価審査委員会委員の選任について
伊豆市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び伊豆市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	平成28年度伊豆市一般会計補正予算（第3回）
伊豆市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	工事請負契約の締結について（土肥小中一貫校建設工事）
伊豆市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部改正について	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書



質問

新中学校での
郷土愛の醸成

(小長谷順二議員)



「第2次伊豆市学校再編計画」では、修善寺・天城・中伊豆の3つの中学校を1校に再編成する方針です。地域に中学校が無くなると、ふるさとへの関心が薄れていくのではないかと危惧されます。小学校までの「ふるさと教育」や「地域学習」で育まれた地域愛を新中学校でどのように活かしていくのか。新教育長の考えを伺います。

教育長
教答

伊豆市全域を愛すべき
ふるさととしていく

新中学校は、今までの3中学校において培った地域学習や伝統を引き継ぎ、伊豆市民との交流や学びの場であることを目指します。

小学校では、旧町のふるさとを中心に、中学校では伊豆市全域を愛すべきふるさととして、地域の方々にも積極的にご協力をいただき、推進していきたいと思えます。

全市的な視野に立ち、中学生ならではの手法で課題・追及・まとめ・提言を重ねながら、ふるさと伊豆市への愛着や誇りを持てるよう、準備を進めます。

質問

文教ガーデンの住宅建設は、
法的に可能か

(木村建一議員)



① 文教ガーデンシティのなかの学校だけでは県と協議しているようですが、住宅地やこども園などが建設できるといふ法的根拠を示してください。

② 農地転用をするとき、都市計画法の開発行為の許可が必要になります。その開発区域は12ヘクタールですね。

総合政策部長
教答

各種法規制に対応するよう
進めていきます

農振法や農地法等の各種手続きは、具体的な計画が定まるごとに、審査されます。

現段階では、中学校のみを調整中です。他の施設に関しては、設計業務等を進めて、運営主体や方法等を検討し、各種法規制に対応するように進めていきます。

農地転用時の都市計画法の開発行為の許可についても、個別具体的な案件が固まったの協議になります。

具体的な面積等計画が定まった施設から随時調整を始めていく予定です。

質問

文教ガーデンシティ構想
の市民の関心度は

(小長谷朗夫議員)

先に行われた市長選の投票率は市長選では、過去最低の50.20%という低い投票率でした。

選挙戦の争点の一つでもある「文教ガーデンシティ構想」の是非を問う選挙でもありませんでした。市長が言う「歴史的事業」にも拘わらずの投票率でした。市民の関心度を高めるために今後どのような策を講じていくのか伺います。

市長市答
何としても実現
させていきたい

文教ガーデンシティ事業の大半は、中学校・こども園・公園であり、子育てと教育環境の整備です。

どのような選挙でも、教育が争点になることはありませんが、私はあらゆる政策の中で、一番大切なのは教育だと思います。今であれば合併特例債を使って、教科教室型の新しい中学校を創ることができます。

主権者でありながら意見を述べることができない0歳児が声を出せる20年後に、この事業はよかったと思っていたらどうでしょう、何としてもこの事業を実現させていきたいと考えています。

質問

文教ガーデンシティ
農地転用許可の是非

(永岡康司議員)

90億円かけ、学校・こども園・公園それぞれが一体となって、学びと子育てに適切な生活空間を構築することが基本コンセプトとなっている構想について。

1. 段階的に進める新中学校の地権者数は？地権者の賛同は得られますか？
2. 農地法第5条の申請で、地権者の同意は？
3. 調整池等の考えは？

総合政策部長
答弁

法令クリアを推進

1. 地権者の数については、現時点で45名となっています。
2. 農地転用につきましては、農地法第5条の規定による許可申請を行っています。中学校部分に係る農地法の除外申請については、全員の同意をいただいているところです。
3. 伊豆市の開発行為については、県の手引きを準用しています。調整池については設計の作業において、詳細に計算していく予定です。

質問

パールタウンからの
汚水の違法排出問題

(西島信也議員)

伊豆平パールタウンから日量400トンものし尿汚水・生活雑排水が、何ら処理されることなく狩野川の支流である柳瀬山田川、冷川に排出され続けている。

この汚水の垂れ流し状態は、河川法及び水質汚濁防止法に違反していると思われるが、市当局は、どのように認識しているのか。

市長市答

両法に関する施設は、
パールタウンにはない

パールタウンの浄化槽は、集中管理方式ではなく、単独浄化槽方式であるので、法に違反しているという認識はありません。

また、箱根観光開発と分譲地造成事業の施工に関して協定書を結んでおり、この事業は既に完了していて、協定違反とは考えていません。

なお、浄化槽の指導については市にはなく、県に権限があります。

質問

第2次総合計画実行予算の重点配分先は!?



(三田 忠男議員)

第2次総合計画を全力で推進することが、3期目の一丁目一番地とありますので、重点目標2の「安全で心地

よい生活環境の創出」について伺います。計画の前提として、最初に「人口減と超高齢化社会の到来」を掲げていますので、この分野の対応に十分な予算と職員配置を重点にしていくと考えてよろしいか伺います。

長弁 総合政策で取り組んでいます

伊豆市が抱えている最大の問題は、出生数がどんどん下がっているということですので、これを回復できるように総合政策を編んできました。具体的には、人数が多くなる高齢者に焦点を当てた政策や、出産・子育てに重点を置く考え方もあるので、総合政策としていろいろな対応を取っています。

質問

子ども医療費は中学生まで無料にしませんか



(青木 靖議員)

静岡県内35市町の内、子ども医療費助成の状況は、入院費の自己負担が中学3年生まで無しが22市町ある

が、伊豆市は1日500円、通院費の自己負担が中学3年生まで無しが14市町ですが、伊豆市は月4回まで500円です。親世代の就業環境・収入状況を考えても、子ども医療費は中学3年生まで通院・入院とも無料、自己負担無しにしませんか。

長弁 子ども医療費について検討の時間をいただきたい

子ども医療費について、現状はよく把握しています。担当の部長・課長会議で検討していますが、反対の意見もあります。保育料の軽減処置、通学費、出産準備金等で、財政支出も含めて手当てしている中で、さらに、保護者の負担軽減をする必要があるかとの意見もあります。子ども医療費だけで子育て政策を集約できませんので、他の要素も含めて、少し時間を下さい。

◎その他の質問は、件名のみお知らせします。また、映像はホームページから配信予定です。ご覧ください。

三田忠男	西島信也	小長谷朗夫	木村建一	小長谷順二
行政改革について	文教ガーデンシティ計画の今後について	土肥小中に設置予定の放課後児童クラブ「といっくくらぶ」の運営は絶好のチャンス	「天城支所の建物を東京ラスク」は、市民の願いですか	公共施設等社会インフラの再配置や今後の整備見直しについて
防災について	オリンピック関連について	新中学校の学校運営と施設整備及び施設配置について	新中学校の特徴と考える教科教室は他の学校が羨む教育ですか	伊豆市最大の課題である少子高齢化対策と文教ガーデンシティは、連動していますか

請願 1

文教ガーデンシティ構想に関する請願書

第1委員会

【請願項目②】

文教ガーデンシティ構想の全体事業費90億円です。さらに周辺部にも拠点施設を整備することです。90億円では済まないでしょう。財政投入が市民のくらしにどのような影響を与えるのか具体的説明が不十分です。

市民の税負担は重すぎます。市民の税金を大切に使ってください。また、未来ある子どもや孫にも借金を残していくことになりません。市民説明会で出された市民の意思を尊重してください。以上のようなことから、法律、財源、配置などにさまざまな問題を抱えている「文教ガーデンシティ構想」の凍結を求めます。

【議員意見】

●合併特例債など有利な事業債を使うというのは、一つの方法であると思っています。説明会で出された意見は一部の特定の方の意見でもあると思います。何回説明会を開催しても来ない方の意見をうかがい知ることが、いくら時間をかけても難しいのではないかと思っています。そして凍結に関しては反対です。

●財政シミュレーションの説明は受けたが、オリンピック等による財政負担が、ものすごいのではないかと思います。このシミュレーションについては、信用出来ないと思う。事業凍結は厳しいが、その他については賛成したい。

●伊豆市はこのまま何もしないと、どんどん過疎になり大変なことになるのではと思っています。この事業の凍結には賛成できません。しかし、いろいろな問題もあると思いますので、当局には説明を求めていきます。

【委員会採決】

「市民の税負担は重すぎます。市民の税金を大切に使ってください。また、未来ある子どもや孫にも借金を残していくことになりません。市民説明会で出された市民の意思を尊重してください。」の部分の「一部採択」と決定しました。

第2委員会

【請願項目①】

文教ガーデンシティ構想による、新中学校の再編成は凍結し、各地域に中伊豆、天城、修善寺の現在の中学校の存続を求めます。

【議員意見】

●学校は、地域によって支えられている。部活のために中学校統合というのであれば、土肥の小中一貫教育にはあてはまらない。飛び地に第

2グラウンドを作るが、交通安全対策に何も手を付けていない。教科教室がどのように子供たちの成長に反映されていくのかもつかない。クエスチョンがたくさんあるから、これは凍結しないと考える。

●思春期の子供たちが、人間として成長するときに、大勢の友達や先生との関わりの中で成長して欲しいと願っている。伊豆市の中学生に合う教育環境を整えることが私たちの役目であるので、中伊豆中、天城中、修善寺中の存続は無理だと考えます。

【委員会採決】

「不採択すべきもの」と決定しました。

本会議（最終日）

【採決】

請願項目②については、委員長報告の「一部採択」について採決した結果、「否決」されました。改めて、「採択・不採択」について採決した結果、「不採択」とすることに決定しました。

請願項目①については、委員長報告のとおり「不採択」とすることに決定しました。



請願 2

文教ガーデンシティ計画

行政手続きに関する請願書

第1委員会

【請願項目】

文教ガーデンシティ計画の内の農地12ヘクタールの内農業振興地域9ヘクタールの変更手続きはできるか否かを執行部は明らかにしていただきたい。農地法、土地利用計画、都市計画の開発行為等の行政手続きの進捗状況を示していただき、市民にわかりやすく説明して頂きたい。

【議員意見】

● 文教ガーデンシティ計画、12ヘクタールの開発が本当にできるのか。合併特例債の期限である平成32年までに出来なければ、お金はどうするのか。はっきりしていただかないと、予算をどんどん出して途中でダメになったら大変なことになると思うので、この請願には賛成します。

● 請願が出ているということは、議会が何もしていないから市民が聞かせてほしいと言っているのだと思います。

● 出来るか否かということも今まさに検討している最中だと思えます。明確になり次第、明らかにしてほしいという気持ちです。

【委員会採決】

「採択すべきもの」と決定しました。

本会議（最終日）

【採決】

委員長報告のとおり「採択」とすることに決定しました。

請願 3

修善寺駅及び周辺整備事業に関する請願書

第1委員会

【請願項目】

① その成果と課題を市民にわかりやすく説明してください。

② 修善寺駅乗降客の推移を提出してください。

③ この事業を次の事業にどのように生かしていくか説明してください。

④ 「都市再生整備計画 事後評価シート」全文を提出してください。

【議員意見】

● これからも、焼却場、あるいは文教ガーデンシティ構想、都市計画の変更、オリンピックの関係などいろいろな事業がでてきます。やはり

投資をしたからには、チェックとアクションは大事なことでありますので、要望に対してなら反対するものではありません。

● 2016年3月の完成は、周辺も含めると予定通りだと思います。成果や課題の説明を求め、今もないものもあるのではないかと思いますが、この請願の4項目自体は基本的に反対するものではありません。賛成します。

● アンケートは、工事中にとったものであるというので、今すぐに、データを示してわかりやすく説明するのは少し時期が早いのではないかと思います。また、修善寺駅の乗降客の推移は、伊豆箱根さんと市で協議をして、出せるものについては公表する分には問題ないと思います。

この事業をどのように生かしていくかということも、やはりデータがまだ不足していると思うので、少し早いのではないかと思っています。したがって、時期の早いものもあるのではないかとということです。

【委員会採決】

「採択すべきもの」と決定しました。

本会議（最終日）

【採決】

委員長報告のとおり「採択」とすることに決定しました。

議会報告会

～みんなで語る会～
を開催しました

伊豆市議会では、平成28年5月24日（火）から27日（金）までの4日間、4地区で「議会報告会」を開催し、平成28年度一般会計予算の概要及び委員会審査報告とワークショップ（意見交換）を行いました。市民の方から議会や市政について、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



平成28年度一般会計予算についての質疑

- Q** 文教ガーデンシティ事業費90億円の財政シミュレーションを質問しないで、平成28年度予算を認めたのか。
- A** 文教ガーデンシティ事業の今後の財政計画及び平成28年度予算については、審査しました。
- Q** 湯ヶ島小学校周辺の活性化について、目的や具体的な姿が見えてこないが、議会としてどのように考えるのか。
- A** 3月定例会では、湯ヶ島小学校を地域づくり協議会の拠点、井上靖先生の資料展示、静大等の研究室として整備し、地域の拠点として位置づけるための設計料について審査しました。
- Q** 伊豆市の情報発信業務は、どのようなことをやっているのか。
- A** 主なものは、昨年からFMISに委託している広報紙作成とSNSであるが、その他にホームページでの情報発信も行っています。

●ワークショップでの意見（たくさんのご意見を伺いましたが、ここでは一部を紹介します。）

5/24（火）中伊豆地区 中伊豆ふれあいプラザ

- 萬城の滝・六仙の里・旧八岳小の整備（道路・看板・環境衛生等）により中伊豆地区の活性化を。
- 行政機関が子育て・若者世代との真剣な意見聴取をし、住みたくなるまちづくりを創設してほしい。
- 新中学校でのバス通学路線・本数・時間、自転車通学、補助制度等の未定部分の早期市民周知を。

5/25（水）天城湯ヶ島地区 ふらっと月ヶ瀬

- オリンピック終了後のサイクルロードや観光地の名所周遊路整備と情報発信をしてほしい。
- 中学校の再編成について、小規模校の良さもある。まだ話し合いが足りない。
- 自分たちの孫には、ある程度の生徒数がそろった適正な規模の学校教育を受けさせたい。

5/26（木）土肥地区 土肥支所

- 伊豆市の産業の中心である観光で、リピーターを作れるように、紙に書いたものを配るだけでなく、みんなに直接語りかけて話し合いをしてほしい。
- 山越えしないと働くところがない。地元に働く場所をもつてくることを、もっと考えてほしい。
- 地区要望5件以内を、合併以来同じ要望をしているが、実行されない。防災の要望は優先してほしい。

5/27（金）修善寺地区 生きいきプラザ

- 再編成などの一方で、若い世代の働く場としての福祉・教育の現場が少なくなってしまう。働く場を作ることが大事。
- 子どもの成長を考えると、たくさんの人の中で生活し、色々な選択肢がある環境の中で育った方が、良い面がたくさんあることを、たくさんの人に知ってほしい。
- 地域づくり協議会は、人が多い地区ではまともらない。

※皆さまからいただいたご意見や実施報告書、アンケート結果などの詳細については、伊豆市のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

平成28年
第1回臨時会

4月25日、平成28年第1回臨時会を開催し、市長から提出された議案6件について、原案のとおり可決・同意しました。

平成28年度補正予算

◆一般会計補正予算（第1回）

リオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックにおいて、会場周辺の状況、輸送体制、地の受入体制などを視察するための職員派遣旅費に798万円、若者定住促進補助事業の対象者拡大に伴う補助金の増額に840万円、土肥港湾内で発生した重油流出に対処するための汚染土砂除去工事に1千150万円など、総額2千940万円を増額し、歳入・歳出予算額を166億1千940万円とするもの。

条例

◆ふるさと伊豆市寄附条例の一部改正

去る3月議会において事業の区分に「東京オリンピック・パラリンピックを支援する事業」を追加する改正を行いました。その後、「オリンピック」や「パラリンピック」の名称を自治体が行う寄附や募金の呼びかけには使用できないことが判明したため、「スポーツの振興のための事業」に改正するもの。

その他

◆専決処分の報告及びその承認

（伊豆市税条例等の一部改正）

地方税法の改正に伴い、伊豆市税条例の一部を改正するもの。施行が平成28年4月1日とされているため、3月31日付で専決処分をしたもの。



人事

◆伊豆市副市長の選任

鈴木副市長が、本年3月31日をもって退職されたことに伴い、静岡県職員である本多伸治氏を選任することに同意。

任期は、平成28年5月1日から平成32年4月30日までの4年間。

◆伊豆市教育長の任命

勝呂教育長が、本年5月11日をもって任期満了となることに伴い、新制度による特別職として、西井伸美氏（三島市）を任命することに同意。

任期は、平成28年5月12日から平成31年5月11日までの3年間。

◆伊豆市教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、永岡眞弓氏を任命することに同意。

任期は、平成28年5月12日から平成32年5月11日までの4年間。

平成28年第1回（4月）臨時会の賛否状況

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	永岡 康司	三田 忠男	小長谷朗夫	山下 尚之	山田 元康	青木 靖	大川 明芳	梅原 正次	小長谷順二	西島 信也	森島 吉文	室野 英子	飯田 正志	木村 建一
予算															
平成28年度伊豆市一般会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
人事															
伊豆市教育長の任命について	同意	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×

意見書

次期介護保険制度改正における

福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

6月定例会で採択し、関係機関へ送付しました。

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれました。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るといって極めて重要な役割を果たしています。

例えば、手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒、骨折予防や自立した生活の継続を実現し、重度化を防ぎ遅らせることに役立っています。また、安全な外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者のとじこもりを防ぎ、社会生活の維持につながっています。仮に軽度者に対する福祉用具、

住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自律的な生活を阻害し給付費が増大するおそれがあります。

以上の理由から次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求めます。

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。

(議会事務局0558-72-9900)

9月定例会の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分～

8月29日(月) 行政報告
議案上程

9月1日(木) 一般質問
2日(金) 一般質問
6日(火) 議案質疑
23日(金) 委員長報告
質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。
ご了承ください。

9月定例会 委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室
時間 午前9時30分～

9月7日(水)・9日(金)
第1委員会

8日(木)・12日(月)
第2委員会

編集後記

人の顔には、顔立ちと顔付きと
言われる二種類があります。前者
は親から譲りうけた生まれつきの
顔です。後者は心の動きと連動す
る顔です。顔付きは心情の表れで
すから如何様にも変わります。

例えば、議論が白熱するとまず
言葉が荒くなります。質問する側
と受ける側の顔付きが変わると最
悪の状態になります。さらにその
状態が進みますと険悪情勢に陥り
ます。議員は常に親から譲り受け
た顔立ちで臨みたいものです。

議会広報委員 小長谷朗夫